（特別約款様式第１）

　年　月　日

共　有　知　的　財　産　権　利　用　許　諾　申　請　書

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

　理　事　長　　殿

住　　　所

名　　　称

　　　　　　　　　　　　　　　　 氏　　　名

　　　年　月　日付け委託契約に基づく開発項目「　　　　　　　　　」に係る共有知的財産権について、下記のとおり利用許諾をしたいので、特別約款第３条第５項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

１．利用許諾しようとする共有知的財産権について

|  |  |
| --- | --- |
|  共有知的財産権の種類(注１)　及び番号(注２) 及び名称(注３) |  　利用許諾先の住所・名称 |
|  |  |

２．承認を受ける理由(注4)

（以下のポイントを参考にして具体的な理由を記載する）

（１）当該利用許諾により、研究開発の成果が事業活動において効率的に活用されるか。すなわち、利用許諾を受ける者は、研究開発の成果を真に利用しようとするものか。(産業技術力強化法第１７条に基づく観点)

（２）当該利用許諾が、我が国の国際競争力の維持に支障を及ぼすこととなる研究開発の成果の国外流出に該当しないかどうか。（研究開発力強化法第４１条に基づく観点）

|  |  |
| --- | --- |
|  契約管理番号 |  ○○○○○○○○－○ |

「共有知的財産権利用許諾申請書」記載要領

 (注１) ： 種類については、特許権、実用新案権、意匠権、回路配置利用権、品種登録者の権利、著作権又はノウハウのうち、該当するものを記載する。

 (注２) ： 番号については、当該種類に係る設定登録番号又は設定登録の出願若しく

は申請番号、ノウハウの管理番号を記載する。

 (注３) ： (1) 発明、考案又は意匠については、当該発明、考案、意匠に係る物品の

名称

 (2) 回路配置については、回路配置を用いて製造した半導体集積回路の名

称及び当該半導体集積回路の分類（構造、技術、機能）

 (3) 植物体の品種にあっては、農林水産植物の種類（属、種、亜種）、出願

品種の名称

 (4) プログラム等又はノウハウにあっては、技術上の成果の名称

該当する（１）～（４）の事項を記載する。

 (注４) ：　具体的な理由を、以下の観点を参考として記載すること。

（１）について

○利用許諾先は、研究開発の成果を効率的に活用するための具体的な事業計画等を有している者であるか。

○利用許諾先が研究開発の成果等を活用して行う事業が、法令や公序良俗に反するものではないか。

○利用許諾先は、当該委託研究開発に関する共同研究先であるか。

（２）について

○利用許諾先は国内に所在する組織か、国外に所在する組織か。国内に所在する組織である場合、その資本比率等はどのようになっているか。

○利用許諾先が行われた場合において、研究開発の成果が活用される場所は国内か、国外か。

○利用許諾先により、国内企業（大学・研究機関を含む）が重要な研究成果に対しアクセスすることが困難となるおそれがあるか。

○利用許諾先により、国内企業の国際競争力の維持に対する不利益がもたらされないか。